都立高校における教員インターンシップの実施

Internship in metropolitan high schools for teachers

都市教養学部理工学系
数理科学コース
小林　正典

1. はじめに

「インターンシップ」は，本来，医師の卵が研修医として無償で働くことを指すが，最近は，一般に官公庁や企業などで就業体験をすることも指す．インターンシップによって就職活動前に職業を体験することで，就職後のミスマッチを防止するなど様々なメリットがある．参加することで，一定の条件を満たせば本学の正規の単位が取得できる．

本学では教員免許を取得して教員を目指す学生が多い．教員の就業体験としては必修の教育実習があるが，授業技術の習得という要素が大きい．近年，教員の仕事は授業以外にも，生活指導や教材開発，地域との連携など多岐にわたる．その可否はともかく，いざ先生になったものの想像していた職業と全然違う，こんなはずではなかったということにもなりかねない．そのため教員としての全体的なインターンシップ体験の機会を提供することにした．短期間で多様な体験をしてもらうため，特色ある都立高等学校である，大島海洋国際高等学校と八丈高等学校の全面的なご協力のもとで実施している．先進的な取り組みであり，開始当初は同様の教員インターンシップはほとんどなかったものであり，ここにご報告したい．

本活動は，大島海洋国際高等学校および八丈高等学校の諸先生方の熱意に支えられているほか，「首都大学東京学外体験型教育プロジェクト」（http://www.tmu-edu-pjt.jp/）の中高大連携プロジェクトという位置づけのもと，平成 23 年度まで「社会貢献力・国際貢献力をもつ骨太な学生の育成を目指した多面的な学外教育プログラムの開発」（代表　福士政広）の支援を受けた．また，実施打合せと広報について，生命科学コースの黒川信准教授と近藤日名子氏に支援いただいている．ここに深く感謝の意を表する．

2. 目的

教員としての職業を総合的に体験する．具体的には以下の 3 点を主とする．

(1) 研究授業以外に課外学習指導・生活指導や地域連携など，教育実習とは異なる形での細やかな指導を実際に体験することで，将来の教員としての能力を総合的に高める．

(2) 高校生への指導により，高校での学習内容を進んだ立場から改めて見直すことで，対象への理解を深める．

(3) 中学高校両方の免許を取得するために中学校で教育実習を行った学生は，高校での実

習経験を積む.

3. 参加資格

中学・高校等の教員を志望する首都大の意欲ある学生・院生(研究生も可). ただし教育実習の経験者に限る.

4. 実施体制

特色ある以下の 2 校にお願いしている. 実施する高等学校長のもとで, 舎監長(大島のみ)および担当の教諭の指示で活動を行う.

(1) 東京都立大島海洋国際高等学校(平成 21 年度～)

全寮制の高校であり, 夜間に宅習(自習)の時間が設けられている. 2 年次から国際系・海洋系に分かれ, 船舶による海洋実習等, 独自のプログラムをもつ. 高校ではこのインターンシップに, 夏季休暇から高校へ戻ってきたばかりの生徒に対し, 宅習の補助をするなど普段とは異なる形で指導することで, 生徒の気持ちを切り替え, また大学生・大学院生の研究内容に触れることで進路について考え, 学習意欲をより一層高めることを期待している. 首都大学東京とは高大連携協定を結んでいる.

(2) 東京都立八丈高等学校(平成 28 年度～)

八丈島唯一の高等学校として, 全日制と定時制の両方があり, 普通科に加えて園芸科・家政科がある. このように様々な教育課程が島の中だけで受けられるようになっている. 普通科から一定数が本学にも入学するため, インターンシップ生の受入れは進路指導の一環にもなる. 高校は地域連携や高大連携にも積極的に取り組んでいる.

大学での説明会の開催・面談等は小林が行う.

5. 内容

インターンシップは以下のような内容で実施した. 年度・実施校により詳細は異なる.

(1) 授業技術: 体験授業, 授業補助, 授業見学, 問題作成
(2) 学内活動: 部活動補助, 文化祭準備補助, 国際交流活動
(3) 進学指導: 大学生活, 研究内容の説明
(4) 生活指導: 宅習指導, 登校見守り
(5) 学校研修: 図書室・保健室などの理解
(6) 地域連携: 地場産業を生かした学校教育, PTA 活動・教育委員会見学

(7) 情報交換: 教員との交流

実施概要

(1) 期間

月曜から金曜まで. ただし大島では金曜夜に宅習指導があるため, 土曜日を移動日とする(初年度のみ金曜終了としたが実質的には同じ).

(2) 費用

報酬なし. これはインターンシップの科目認定のための要件でもある.

滞在費は実施校のご協力で一般より低廉になるよう工夫していただいている.

- 大島海洋国際高等学校:寮に宿泊させていただくため宿泊代は無料. ただし朝食・夕食の給食代とシーツクリーニング代実費を徴収する(5 泊で 6000 円程度).
- 八丈高等学校:低廉な宿泊施設を斡旋して頂いている.

交通費は自費. ただし, 平成 23 年度までは,「社会貢献力・国際貢献力をもつ骨太な学生の育成を目指した多面的な学外教育プログラムの開発」(代表 福士政広)の支援を受けた.

(3) 交通

島嶼は交通が天候に左右されやすい. 高校への交通手段については丁寧に説明し, 万一の場合は後ろに 1 日ずれることもありうることを了解してもらっている(幸い, 今まで日程がずれたことはない). 伊豆大島へは, 竹芝桟橋からの東海汽船の大型客船(前日夜発)・ジェット船と, 調布飛行場からの新中央航空のプロペラ機が主要な選択肢になる(全日空の羽田―大島便は平成 27 年 10 月 25 日より運休中). 八丈島へは, 東海汽船の大型客船(前日夜発)と, 全日空の羽田―八丈便のいずれかになる.

(4) 実施前

毎年, 6～7月にポスターの掲示等により周知を図り, 説明会を開催する. 参加希望者とは個別に面談を行い適格であることを確認した上で, 申込書と高校所定の誓約書を受け取り, 各高等学校に推薦している. その際, 希望する担当教科, 部活動等のリクエストも高校に伝達する. 高校からの承諾をもって参加許可となる. 申込時に, 教育実習に準じた保険への加入も義務付けている.

(5) 実施後

実施後は, 参加者からの個別の聴き取りと, 担当教諭との実施状況についての情報交換を行う. 単位申請がある場合には所定の報告書の提出のもとに, 学生の各所属で単位認定を行う. ほぼ毎年, 高校に伺って, 次回実施の打合せを行っている.

具体的なスケジュールは以下の通りである.

実施例（平成 26 年度・大島）

【9月8日（月）】

09 時 30 分　大島出帆港到着　到着後路線バスで海洋国際高校前下車

10 時 30 分頃　学校到着　生徒会室待機　※企画調整会議後、校長室で校長に紹介

12 時 05 分　職員室で学生紹介. 教科担当教諭、クラス担任にご挨拶.

ドミ車でドミトリへ移動.

13 時 00 分　ドミトリで昼食. オリエンテーション

14 時 30 分　2・4棟の学生の居室へ荷物を置き、居室で待機

16 時 30 分　学生入浴

18 時 20 分　食事（18:20～19:15）

19 時 25 分～19 時 40 分　ドミトリ生に学生紹介（多目的ホール）～島生の希望者も参加

19 時 45 分　宅習開始

22 時 20 分　宅習終了

23 時 00 分　消灯　※ 居室の電気は消してください.

【9月9日～12日】

06 時 35 分　起床

06 時 45 分　点呼・朝食

07 時 30 分　管理棟に移動・登校指導

08 時 00 分　スクールバスで学校に移動し、担当教員に挨拶・打ち合わせ. 授業補助や教材研究を行う.

16 時 30 分～　入浴　※ 部活補助及び文化祭準備補助を行いスクールバスで帰舎する場合は、入浴は生徒と一緒になります.

18 時 20 分　夕食

19時45分　宅習開始　※ 10（水）の宅習1時間目については、希望生徒との懇談会を実施予定（管理棟会議室）

22 時 20 分　宅習終了

23 時 00 分　消灯　※ 居室の電気は消してください.

【9月13日（土）】

06 時 35 分　起床

06 時 45 分　点呼・学生代表挨拶・朝食

07 時 30 分　登校指導

07 時 45 分　ドミ車で学校へ移動

08 時 10 分　職員室で学生あいさつ

08 時 30 分　校長室で校長より認定書授与

09 時 00 分　学校出発

12 時 30 分　大島出帆港発

実施例(平成 28 年度・八丈)

時	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
8	八丈着	朝食	朝食	朝食 00 出勤	朝食 00 出勤
9	オリエンテーション	町教委見学	国際交流について	地域連携調査	報告書作成
10	地域理解実習	小中学校見学	ハワイリーダースプログラム	地域連携調査	報告書作成
11	長田商店 (PTA 会長)	小中学校見学	海洋教育について	地域連携調査	報告書作成
12	昼食	昼食	昼食	地域連携調査	まとめ
13	全日制授業参加	全日制授業参加	地域連携調査	昼食	昼食
14	全日制授業参加	全日制授業参加	地域連携調査	調査報告及び検討	研究協議
15	全日制について(副校長)	全日制部活参加	地域連携調査	調査報告及び検討	生徒との懇談
16	定時制について(副校長)	全日制部活参加	地域連携調査	全日制部活参加	修了式
17	定時制授業参加	全日制部活参加	全日制部活参加	全日制部活参加	離島 ANA
18	給食	全日制生徒自習指導	全日制生徒自習指導	懇親会	
19	定時制授業参加	全日制生徒自習指導	全日制生徒自習指導	懇親会	
20	定時制授業参加	夕食 調査打合せ	夕食　定時制行事参加		
21	定時制部活参加	調査打合せ	定時制行事参加		
22	00 退勤	00 退勤	00 退勤		

7. 参加人数

大島海洋国際高等学校

年度	開始日	終了日	参加者	学部 4 年	大学院生	その他
平成 21 年度	9/7	9/11	5	2	3	0
平成 22 年度	9/6	9/11	5	3	2	0
平成 23 年度	9/12	9/17	6	5	1	0
平成 24 年度	9/10	9/15	4	1	3	0
平成 25 年度	9/9	9/14	3	1	1	1
平成 26 年度	9/8	9/13	2	1	1	0
平成 27 年度	9/7	9/12	2	1	1	0
平成 28 年度	9/5	9/10	3	1	2	0
平成 29 年度	9/4	9/9	1	1	0	0

八丈高等学校

年度	開始日	終了日	参加者	学部 4 年	大学院生	その他
平成 28 年度	9/12	9/16	2	2	0	0
平成 29 年度	9/11	9/15	1	1	0	0

所属別

数理科学コース・数理情報科学専攻	17
生命科学コース・生命科学専攻	10
化学コース・化学専攻	3
地理環境コース	2
物理学コース・物理学専攻	1
教育学専攻	1
合計	34 名

※数理科学コースと数理情報科学専攻で 2 度参加した学生1名を両方で数えている.

※平成 21, 28 年度には急病等で不参加の 4 年生が 1 名ずついる(数には入っていない).

※平成 25 年度には他大学の学生から参加希望があったが, 生徒への責任上, 提携した責任教員のもと実施しているのでない限り参加を認めることは難しいという結論になった.

8. まとめ

時間も費用もかかり, 真剣に教員を志望する意識の高い学生しか応募しないので, 皆しっかりと取り組み, 大半は実際に教員になっている. 参加後の聴き取りでも反応が良いため, 意義ある活動として, 今後も高等学校としっかり連携して継続していく予定である.